

2014年度
(2014年4月～2015年3月)
特別勘定の現況
決算のお知らせ

ご契約者の皆様へ

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。
さて、弊社は去る3月31日に決算を迎えましたので、ここに特別勘定の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも何卒ご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

【利用する投資信託の委託会社】

アライアンス・バーンスタイン株式会社



アライアンス・バーンスタイン株式会社は、米国ニューヨークに本社を置くアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーを中核とするアライアンス・バーンスタイン*の日本拠点です。アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーは1971年の設立以来、資産運用会社として長年にわたる歴史を有し、世界各国の主要都市に業務展開を行い、個人投資家や富裕層、機関投資家向けに投資信託や年金運用等の投資サービスを提供しています。グローバルな調査体制を擁する世界有数の運用会社として、株式、債券、マルチアセット、オルタナティブ運用など、幅広い資産運用サービスや商品を提供しています。

*アライアンス・バーンスタインには、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーとその傘下の関連会社を含みます。

- ・ アクサ生命保険株式会社の「年金払定期付積立型変額保険」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
 - ・ 当資料は、アクサ生命保険株式会社の「年金払定期付積立型変額保険」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
 - ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
 - ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
 - ・ 商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要／注意喚起情報)(*)」、「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
 - ・ 当資料に記載されている各表にある金額、比率、資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等していますので、合計等と合致しないことがあります。
- * 金融商品取引法の2007年9月30日完全施行により配布を開始しております。

年金払定期付積立型変額保険 特別勘定の現況

(2014年4月～2015年3月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2014年4月～2015年3月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、大幅に上昇しました。東証株価指数(TOPIX)は前期末比+28.28%上昇の1,543.11ポイント(前期末は1,202.89ポイント)で終了しました。今期前半は、日銀が金融政策を現状維持にとどめたことなどから下落した後は、米国の堅調な経済統計などを背景に上昇基調で推移しました。今期後半は、世界経済の先行き不安などから下落した後は、日銀やECB(欧州中央銀行)の追加金融緩和や企業業績の改善などを背景に、大幅に上昇して、今期を終えました。業種別(東証33業種)では、円安による業績拡大期待が高まった「化学」(前期末比+46.40%)が最も上昇した一方、原油価格の大幅下落を受けて「石油・石炭製品」(同△0.24%)が最も下落しました。

【外国株式市場】

米国株式市場は、上昇しました。NYダウは前期末比+8.01%上昇の17,776.12ドル(前期末は16,457.66ドル)で終了しました。今期前半は、ウクライナや中東における地政学リスクの高まりなどから下落する場面もありましたが、経済指標の改善などから、上昇基調で推移しました。今期後半は、世界経済の先行き不安などから大きく下落した後、共和党が両院を制してねじれ議会が解消したことなどにより反発しましたが、その後は利上げ観測を巡り揉み合いながら推移して、今期を終えました。

欧州株式市場は、上昇しました。概ね米国株式市場と同様の動きとなりましたが、今期後半は、ECBによる追加金融緩和や、ギリシャへの金融支援延長合意などから、特に仏・独株式市場では大幅に上昇し、堅調に推移して、今期を終えました。市場別騰落率は、英FT100は前期末比+2.65%上昇、仏CAC40は同+14.62%上昇、独DAXは同+25.22%上昇となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、金利が低下しました。新発10年国債利回りは0.40%となりました(前期末は0.64%)。今期前半は、株高・円安などを受けて、金利は上昇(価格は下落)する場面もありましたが、欧米の長期金利の低下や、国債需給の逼迫が意識されたことなどから、低下(価格は上昇)基調で推移しました。今期後半は、日銀の強力な金融緩和姿勢などを受けて、大幅に低下した後、堅調な株価などから上昇しましたが、米国の利上げ観測や国債入札結果などを巡り、揉み合いで推移して、今期を終えました。

日本銀行は10月末にマネタリーベース増加額の拡大を決定し、年間約80兆円(約10～20兆円増加)に相当するペースで増加するよう金融市場調節を行いました。無担保コール(翌日物)は0.1%程度の水準で推移しました。

【外国債券市場】

米国債券市場は、金利が大幅に低下しました。米10年国債利回りは1.92%となりました(前期末は2.72%)。今期前半は、経済指標の改善や地政学リスクの高まりなどから、揉み合いで推移しました。今期後半は、原油価格の下落やECBの追加金融緩和などを受けて、大幅に低下した後、好調な株式市場などから上昇しましたが、FOMC(米連邦公開市場委員会)の結果を受けて、利上げペースが緩やかとなる可能性が意識されたことなどから、低下基調で推移して、今期を終えました。

欧州債券市場は、金利が大幅に低下しました。独10年国債利回りは0.18%となりました(前期末は1.57%)。地政学リスクの高まりや、スイス中央銀行によるスイス・フラン上限撤廃、ECBの資産買入れ開始などを受け、期を通して低下基調で推移しました。

FRB(米連邦準備制度理事会)は、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を据え置き、年0.00～0.25%を維持しました。ECBは6月と9月に政策金利を0.10%ずつ引き下げ、年0.05%としました。

【外国為替市場】

外国為替市場は、前期末比較で米ドル/円相場は円安となる一方、ユーロ/円相場は円高となりました。米ドル/円相場では、前期末比17円25銭円安ドル高の1ドル=120円17銭となりました(前期末比+16.76%上昇)。今期前半は、横ばいで推移した後、先行きの日米金利差の拡大が意識されたことなどを背景に、円安となりました。今期後半は、日銀の追加金融緩和などにより大幅に円安が進行しましたが、その後は米国の利上げ観測を巡り揉み合いながら推移して、今期を終えました。

ユーロ/円相場は、前期末比11円33銭円高ユーロ安の1ユーロ=130円32銭となりました(前期末比△8.00%下落)。今期前半は、米国の経済指標の改善などから円安となる一方、地政学リスクの高まりなどから円高となるなど、小幅な揉み合いで推移しました。今期後半は、日銀の追加金融緩和やドイツの景況感改善などから、円安が進行した後、スイス・フラン上限撤廃や、ECBの量的金融緩和などを背景に、大幅な円高となり、今期を終えました。

日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

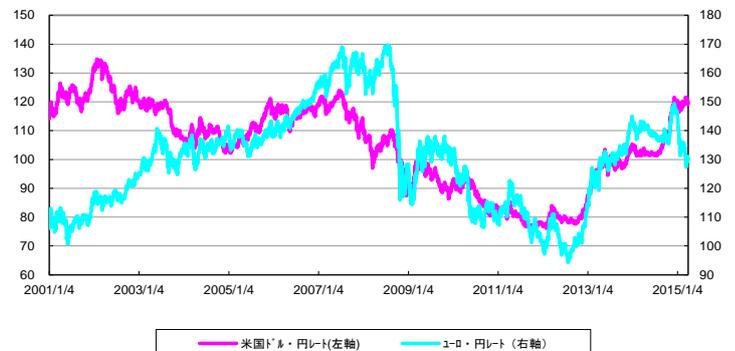


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所:株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

年金払定期付積立型変額保険 特別勘定の現況

(2014年4月～2015年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の種類と運用方針について

特別勘定名	基本資産 配分比率	利用する投資信託		委託会社
		投資信託名	運用方針	
ライフ プロデュース30	世界 株式 30%	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ グローバル・バランス (保守型)	マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式および投資適格債(BBB格以上)に分散投資し、信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。株式の実質組み入れ比率は純資産の30%程度を基本とし、一定の規律に従いリバランス ¹⁾ を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	アライアンス・ バーンスタイン 株式会社
	世界 債券 70%			
ライフ プロデュース50	世界 株式 50%	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ グローバル・バランス (中立型)	マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式および投資適格債(BBB格以上)に分散投資し、信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。株式の実質組み入れ比率は純資産の50%程度を基本とし、一定の規律に従いリバランス ¹⁾ を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	
	世界 債券 50%			
ライフ プロデュース70	世界 株式 70%	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ グローバル・バランス (積極型)	マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式および投資適格債(BBB格以上)に分散投資し、信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。株式の実質組み入れ比率は純資産の70%程度を基本とし、一定の規律に従いリバランス ¹⁾ を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	
	世界 債券 30%			
ライフ プロデュース日本株式	日本 株式 100%	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ ジャパン・スタイル・ブレンド・ ファンドー1	マザーファンド受益証券への投資を通じて、投資スタイルの分散を図り、主として日本の株式を投資対象に信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。バリュー株(割安株)及びグロース株(成長株)への投資配分は、50%程度ずつを基本とし、一定の規律に従いリバランス ¹⁾ を行います。	
ライフ プロデュース世界株式	世界 株式 100%	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ グローバル・グロース・ オポチュニティーズー3	マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国(日本を含む)の株式を投資対象に成長の可能性が高いと判断される「セクター」の中から、成長性が高いと思われる銘柄に投資し、信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	
ライフ プロデュース世界債券	世界 債券 100%	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ グローバル・ボンド・ ファンドー1	マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国の投資適格債(BB格以上)を投資対象に分散投資と投資対象証券の相対的投資価値分析を基本として、信託財産の成長を図ることを目的に運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	

※ 特別勘定の種類、運用方針および委託会社等の運用協力会社は、将来変更されることがあります。

※ 特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

・3ページおよび5ページ～10ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、11ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

年金払定期付積立型変額保険

特別勘定の現況

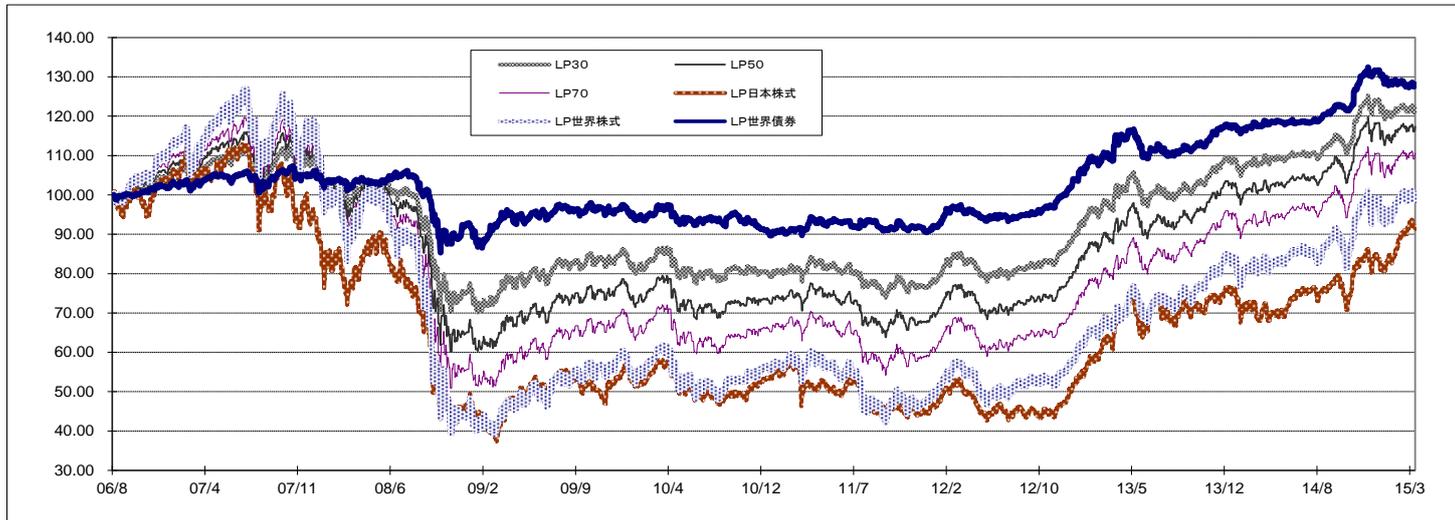
(2014年4月～2015年3月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2015年3月 末日現在]

■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



■特別勘定資産の内訳

特別勘定名	資産残高
	金額(千円)
ライフプロデュース30	1,670,434
ライフプロデュース50	12,120,694
ライフプロデュース70	5,973,165
ライフプロデュース日本株式	2,300,539
ライフプロデュース世界株式	6,688,008
ライフプロデュース世界債券	2,702,081

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

年金払定期付積立型変額保険

特別勘定の現況

(2014年4月～2015年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

特別勘定 ライフプロデュース30 [2015年3月 末日現在]

■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2014年度のユニットプライス騰落率は+12.11%となりました。
 当期の世界の債券市場は、2014年12月にかけては、価格は上昇(利回りは低下)しましたが、その後は利上げ観測などを受けて変動性の高い展開となりました。世界の株式市場は、調整局面がありつつも、主要地域で金融緩和策が維持されたことなどを好感して上昇しました。利用する投資信託のベンチマークとの比較では、世界債券M7ファンドについては、イギリスの残存期間戦略などがマイナスだった一方、米ドルを高め比率とした通貨配分などがプラスとなりました。世界株式M7ファンドについては、情報技術セクターにおける銘柄選択などがマイナスとなりました。各マザーファンドに対する基本資産配分を概ね維持しました。今後も、組入れ投資信託については継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行う方針です。

■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



	ユニットプライス	騰落率(%)
2015年3月末	122.15	過去1ヵ月 ▲0.26
2014年12月末	124.08	過去3ヵ月 ▲1.55
2014年9月末	114.67	過去6ヵ月 6.52
2014年6月末	110.13	過去1年 12.11
2014年3月末	108.96	過去3年 44.74
2013年12月末	109.58	設定来 22.16

■特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	14,015
有価証券売却益	—
有価証券評価益	173,336
有価証券償還益	—
為替差益	—
その他収益	—
有価証券売却損	—
有価証券評価損	—
有価証券償還損	—
為替差損	—
その他費用及び損失	—
収支差計	187,351

- ※ 特別勘定のユニットプライスは、2006年8月30日のプライスを100.00として計算しています。
- ※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。
- ※ 特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認いただくことができます。

■特別勘定資産の内訳

項目	ライフプロデュース30	
	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	71,362	4.3
その他有価証券	1,599,071	95.7
合計	1,670,434	100.0

- ※ 特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。
- ※ なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下《参考情報》に記載しております。
- ※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

《参考情報》 適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・グローバル・バランス(保守型) [2015年3月 末日現在]

■利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・グローバル・バランス(保守型)
 【委託会社】 アライアンス・パースタイン株式会社
 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式および投資適格債(BBB格以上)に分散投資し、信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。株式の実質組み入れ比率は純資産の30%程度を基本とし、一定の規律に従いリバランス^{*}を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

※ 当投資信託は、主としてアライアンス・パースタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券、アライアンス・パースタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券に投資します。

■当投資信託の資産配分比率 ・ 比率は、投資信託組入銘柄に対する比率となります。

	基本資産配分	AB保守型
世界株式M7ファンド [*]	30.00%	30.32%
世界債券M7ファンド ^{**}	70.00%	70.18%
短期金融資産等	0.00%	-0.50%
合計	100.00%	100.00%

- * 世界株式M7ファンド: アライアンス・パースタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券
- ** 世界債券M7ファンド: アライアンス・パースタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	▲0.18%	▲1.38%	7.37%	13.89%	51.10%	41.73%
BM	▲0.33%	▲1.39%	8.06%	15.01%	58.30%	59.24%
差	0.15%	0.00%	▲0.69%	▲1.13%	▲7.20%	▲17.51%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2006年6月5日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、合成ベンチマークを指します。合成ベンチマークの組合せの比率は以下のとおりです。

	投資信託
MSCIワールド・インデックス ² (税引後配当金込/円ベース)	30.00%
シティ世界国債インデックス (円ベース) ³	70.00%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。 ・3ページおよび5ページ～10ページに記載されている「*1~*4」の用語説明は、11ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

年金払定期付積立型変額保険

特別勘定の現況

(2014年4月～2015年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

特別勘定 ライフプロデュース50 [2015年3月 末日現在]

■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2014年度のユニットプライス騰落率は+14.71%となりました。
 当期の世界の債券市場は、2014年12月にかけては、価格は上昇(利回りは低下)しましたが、その後は利上げ観測などを受けて変動性の高い展開となりました。世界の株式市場は、調整局面がありつつも、主要地域で金融緩和策が維持されたことなどを好感して上昇しました。利用する投資信託のベンチマークとの比較では、世界債券Mファンドについては、イギリスの残存期間戦略などがマイナスだった一方、米ドルを高め比率とした通貨配分などがプラスとなりました。世界株式Mファンドについては、情報技術セクターにおける銘柄選択などがマイナスとなりました。各マザーファンドに対する基本資産配分を概ね維持しました。今後も、組入れ投資信託については継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行う方針です。

■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



ライフプロデュース50			
ユニットプライス		騰落率(%)	
2015年3月末	117.36	過去1ヵ月	▲0.13
2014年12月末	118.27	過去3ヵ月	▲0.77
2014年9月末	108.63	過去6ヵ月	8.03
2014年6月末	104.08	過去1年	14.71
2014年3月末	102.31	過去3年	53.85
2013年12月末	103.51	設定来	17.37

■特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	85,713
有価証券売却益	—
有価証券評価益	1,479,518
有価証券償還益	—
為替差益	—
その他収益	—
有価証券売却損	—
有価証券評価損	—
有価証券償還損	—
為替差損	—
その他費用及び損失	—
収支差計	1,565,231

- ※ 特別勘定のユニットプライスは、2006年8月30日のプライスを100.00として計算しています。
- ※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。
- ※ 特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認くださいことができます。

■特別勘定資産の内訳

項目	ライフプロデュース50	
	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	495,617	4.1
その他有価証券	11,625,077	95.9
合計	12,120,694	100.0

- ※ 特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下《参考情報》に記載しております。
- ※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

《参考情報》 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・バランス(中立型) [2015年3月 末日現在]

■利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・バランス(中立型)
 【委託会社】 アライアンス・バーンスタイン株式会社
 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式および投資適格債(BBB格以上)に分散投資し、信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。株式の実質組み入れ比率は純資産の50%程度を基本とし、一定の規律に従いリバランス*を行います。実質組入れ外資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

※ 当投資信託は、主としてアライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券、アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券に投資します。

■当投資信託の資産配分比率

・ 比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

	基本資産配分	AB中立型
世界株式Mファンド*	50.00%	50.72%
世界債券Mファンド**	50.00%	49.80%
短期金融資産等	0.00%	-0.52%
合計	100.00%	100.00%

* 世界株式Mファンド:アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券

** 世界債券Mファンド:アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	▲0.04%	▲0.57%	8.99%	16.67%	60.95%	36.05%
BM	▲0.21%	▲0.51%	9.87%	18.11%	71.96%	65.26%
差	0.18%	▲0.06%	▲0.88%	▲1.44%	▲11.01%	▲29.21%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2006年6月5日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、合成ベンチマークを指します。合成ベンチマークの組合せの比率は以下のとおりです。

	投資信託
MSCIワールド・インデックス ² (税引後配当金込/円ベース)	50.00%
シティ世界国債インデックス (円ベース) ³	50.00%

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・ 3ページおよび5ページ～10ページに記載されている「*1~*4」の用語説明は、11ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

年金払定期付積立型変額保険

特別勘定の現況

(2014年4月～2015年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

特別勘定 ライフプロデュース70 [2015年3月 末日現在]

■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2014年度のユニットプライス騰落率は+17.34%となりました。
 当期の世界の債券市場は、2014年12月にかけては、価格は上昇(利回りは低下)しましたが、その後は利上げ観測などを受けて変動性の高い展開となりました。世界の株式市場は、調整局面があつつも、主要地域で金融緩和策が維持されたことなどを好感して上昇しました。利用する投資信託のベンチマークとの比較では、世界債券Mファンドについては、イギリスの残存期間戦略などがマイナスだった一方、米ドルを高め比率とした通貨配分などがプラスとなりました。世界株式Mファンドについては、情報技術セクターにおける銘柄選択などがマイナスとなりました。各マザーファンドに対する基本資産配分を概ね維持しました。今後も、組入れ投資信託については継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行う方針です。

■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



ライフプロデュース70			
ユニットプライス		騰落率(%)	
2015年3月末	110.59	過去1か月	▲ 0.00
2014年12月末	110.58	過去3か月	0.02
2014年9月末	100.94	過去6か月	9.56
2014年6月末	96.48	過去1年	17.34
2014年3月末	94.25	過去3年	63.04
2013年12月末	95.95	設定来	10.60

■特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	49,572
有価証券売却益	—
有価証券評価益	832,422
有価証券償還益	—
為替差益	—
その他収益	—
有価証券売却損	—
有価証券評価損	—
有価証券償還損	—
為替差損	—
その他費用及び損失	—
収支差計	881,994

※ 特別勘定のユニットプライスは、2006年8月30日のプライスを100.00として計算しています。

※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

※ 特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認くださいことができます。

■特別勘定資産の内訳

項目	ライフプロデュース70	
	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	240,939	4.0
その他有価証券	5,732,226	96.0
合計	5,973,165	100.0

※ 特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。

なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下《参考情報》に記載しております。

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

《参考情報》 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・バランス(積極型) [2015年3月 末日現在]

■利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・バランス(積極型)

【委託会社】 アライアンス・バーンスタイン株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式および投資適格債(BBB格以上)に分散投資し、信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。株式の実質組入れ比率は純資産の70%程度を基本とし、一定の規律に従いリバランス^{*}を行います。実質組入れ外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

※ 当投資信託は、主としてアライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券、アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券に投資します。

■当投資信託の資産配分比率 * 比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

	基本資産配分		AB積極型
世界株式Mファンド*	70.00%		70.60%
世界債券Mファンド**	30.00%		29.95%
短期金融資産等	0.00%		-0.55%
合計	100.00%		100.00%

* 世界株式Mファンド:アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券

** 世界債券Mファンド:アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券

■当投資信託の騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	0.09%	0.24%	10.57%	19.44%	70.95%	28.40%
BM	▲0.11%	0.36%	11.65%	21.22%	86.38%	68.80%
差	0.20%	▲0.12%	▲1.09%	▲1.78%	▲15.43%	▲40.40%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2006年6月5日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、合成ベンチマークを指します。合成ベンチマークの組合せの比率は以下のとおりです。

	投資信託
MSCIワールド・インデックス ² (税引後配当金込/円ベース)	70.00%
シティ世界国債インデックス (円ベース) ³	30.00%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・3ページおよび5ページ～10ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、11ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

年金払定期付積立型変額保険

特別勘定の現況

(2014年4月～2015年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

特別勘定 ライフプロデュース日本株式 [2015年3月 末日現在]

■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2014年度のユニットプライス騰落率は+27.48%となりました。(以下、バリュー株Mファンドは委託会社独自のセクター別、グロース株MファンドはGICSセクター別で記載。) 当期の日本株式市場は、世界経済の先行き懸念や一時的な円高傾向などを背景に下落する局面もあったものの、日本銀行による追加金融緩和策の決定や円安進行、良好な企業決算などを受けて概ね堅調に推移しました。利用する投資信託のベンチマークとの比較では、バリュー株Mファンドでは、テクノロジーのオーバーウェイトや、テクノロジーにおける銘柄選択などがプラスに寄りました。グロース株Mファンドでは、電気通信サービスのオーバーウェイトや、資本財・サービスにおける銘柄選択などがマイナスに寄りました。各マザーファンドに対する基本資産配分を概ね維持しました。今後も引き続き、当投資信託への投資を行う方針です。

■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



ライフプロデュース日本株式			
ユニットプライス		騰落率(%)	
2015年3月末	91.36	過去1ヵ月	1.07
2014年12月末	83.75	過去3ヵ月	9.09
2014年9月末	79.10	過去6ヵ月	15.50
2014年6月末	75.09	過去1年	27.48
2014年3月末	71.67	過去3年	74.42
2013年12月末	76.46	設定来	▲ 8.63

※ 特別勘定のユニットプライスは、2006年8月30日のプライスを100.00として計算しています。

※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

※ 特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認くださいことができます。

■特別勘定資産の内訳

項目	ライフプロデュース日本株式	
	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	95,275	4.1
その他有価証券	2,205,263	95.9
合計	2,300,539	100.0

※ 特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。

なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下《参考情報》に記載しております。

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

■特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	22,985
有価証券売却益	—
有価証券評価益	475,450
有価証券償還益	—
為替差益	—
その他収益	—
有価証券売却損	—
有価証券評価損	—
有価証券償還損	—
為替差損	—
その他費用及び損失	—
収支差計	498,436

《参考情報》 適格機関投資家私専 アライアンス・パースタイン・ジャパン・スタイル・ブレイド・ファンドー1 [2015年3月 末日現在]

■利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私専 アライアンス・パースタイン・ジャパン・スタイル・ブレイド・ファンドー1
 【委託会社】 アライアンス・パースタイン株式会社
 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、投資スタイルの分散を図り、主として日本の株式を投資対象に信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。バリュー株(割安株)及びグロース株(成長株)への投資配分は、50%程度ずつを基本とし、一定の規律に従い「バランス」を行います。

※ 当投資信託は、主としてパースタイン・日本ストラテジック・バリュー株・マザーファンド受益証券、アライアンス・日本大型成長株・マザーファンド受益証券に投資します。

■当投資信託の詳細情報

○資産配分比率

	基本資産配分	投資信託
バリュー株Mファンド*	50.00%	49.64%
グロース株Mファンド**	50.00%	50.41%
短期金融資産等	0.00%	-0.05%
合計	100.00%	100.00%

* バリュー株Mファンド: パースタイン・日本ストラテジック・バリュー株・マザーファンド受益証券

** グロース株Mファンド: アライアンス・日本大型成長株・マザーファンド受益証券

・比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	1.22%	9.76%	16.76%	30.17%	83.18%	1.52%
BM	2.06%	10.53%	17.46%	30.69%	91.86%	14.75%
差	▲0.84%	▲0.77%	▲0.70%	▲0.52%	▲8.68%	▲13.23%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2006年6月5日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、TOPIX(東証株価指数 配当込)⁴です。

○組入上位10銘柄

	銘柄	業種	投資信託
1	トヨタ自動車	輸送用機器	5.34%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.97%
3	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.84%
4	日産自動車	輸送用機器	2.58%
5	キヤノン	電気機器	2.55%
6	SUMCO	金属製品	2.45%
7	日本電信電話	情報・通信業	2.31%
8	東芝	電気機器	2.09%
9	三菱商事	卸売業	2.04%
10	ソフトバンク	情報・通信業	2.04%
合計			28.22%
組入銘柄数			107銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・3ページおよび5ページ～10ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、11ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

年金払定期付積立型変額保険

特別勘定の現況

(2014年4月～2015年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

特別勘定 ライフプロデュース世界株式 [2015年3月 末日現在]

■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2014年度のユニットプライス騰落率は+21.39%となりました。
 当期の世界の株式市場は、世界経済の先行き懸念などを背景に下落する局面があったものの、世界の主要地域で緩やかな金融政策が維持されたことなどを好感して上昇しました。利用する投資信託のベンチマークとの比較では、セクター配分はプラスとなった一方、銘柄選択がマイナスとなりました。セクター配分では、ヘルスケア・セクターを高めに入れていたことがプラスとなりました。銘柄選択では、情報技術セクターや素材セクターにおける選択が主なマイナス要因となりました。今後も、組入れ投資信託については継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行う方針です。

■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



ライフプロデュース世界株式			
ユニットプライス		騰落率(%)	
2015年3月末	100.32	過去1か月	0.19
2014年12月末	99.18	過去3か月	1.15
2014年9月末	89.67	過去6か月	11.88
2014年6月末	85.41	過去1年	21.39
2014年3月末	82.64	過去3年	77.98
2013年12月末	84.89	設定来	0.32

■特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	88,724
有価証券売却益	—
有価証券評価益	1,112,455
有価証券償還益	—
為替差益	—
その他収益	—
有価証券売却損	—
有価証券評価損	—
有価証券償還損	—
為替差損	—
その他費用及び損失	—
収支差計	1,201,179

- ※ 特別勘定のユニットプライスは、2006年8月30日のプライスを100.00として計算しています。
- ※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。
- ※ 特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認ください。

■特別勘定資産の内訳

項目	ライフプロデュース世界株式	
	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	281,790	4.2
その他有価証券	6,406,218	95.8
合計	6,688,008	100.0

- ※ 特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。
- ※ なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下《参考情報》に記載しております。
- ※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

《参考情報》 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ-3 [2015年3月 末日現在]

■利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ-3
 【委託会社】 アライアンス・バーンスタイン株式会社
 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国(日本を含む)の株式を投資対象に成長の可能性が高いと判断される「セクター」の中から、成長性が高いと思われる銘柄に投資し、信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

※ 当投資信託は、主としてアライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券に投資します。

■当投資信託の騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	0.29%	1.43%	12.96%	23.68%	87.08%	81.15%
BM	0.05%	1.65%	14.29%	25.87%	109.46%	160.49%
差	0.24%	▲0.22%	▲1.33%	▲2.20%	▲22.38%	▲79.34%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2003年9月30日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、MSCIワールド・インデックス²(税引後配当金込/円ベース)です。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○組入上位10銘柄

	銘柄	国名	セクター	業態	マザーファンド
1	東芝	日本	資本財・サービス	コングロマリット	1.46%
2	ユナイテッドヘルス・グループ	アメリカ	ヘルスケア	ヘルスケア・サービス	1.46%
3	アップル	アメリカ	情報技術	コンピュータ	1.42%
4	ウェルズ・ファーゴ	アメリカ	金融	商業銀行	1.41%
5	AIAグループ	香港	金融	保険	1.31%
6	フリティッシュ・アメリカン・タバコ	イギリス	生活必需品	タバコ	1.26%
7	アンハイザー・ブッシュ・インベブ	ベルギー	生活必需品	飲料	1.24%
8	エクソン・モービル	アメリカ	エネルギー	石油・ガス	1.18%
9	フォルクスワーゲン	ドイツ	一般消費財・サービス	自動車	1.16%
10	デルファイ・オートモーティブ	イギリス	一般消費財・サービス	自動車部品	1.14%
	合計				13.05%
	組入銘柄数				234銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。 ・3ページおよび5ページ～10ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、11ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

年金払定期付積立型変額保険

特別勘定の現況

(2014年4月～2015年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

特別勘定 ライフプロデュース世界債券 [2015年3月 末日現在]

■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2014年度のユニットプライス騰落率は+8.35%となりました。
 当期の世界の債券市場は、2014年12月にかけては、ウクライナやイラク情勢などの地政学リスクや原油価格の急落を背景に、安全資産としての債券への需要が高まり、価格は上昇(利回りは低下)しました。その後は、米連邦準備理事会(FRB)による利上げ観測などを受けて上下しました。利用する投資信託のベンチマークとの比較では、ユーロ圏およびイギリスの残存期間戦略が主なマイナス要因となりました。一方、ユーロ圏の国債の銘柄選択や、米ドルを高め、ユーロを低めの比率とした通貨配分などが主なプラス要因となりました。今後も引き続き、当投資信託への投資を行う方針です。

■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



ユニットプライス		騰落率(%)	
2015年3月末	128.12	過去1ヵ月	▲0.44
2014年12月末	131.71	過去3ヵ月	▲2.72
2014年9月末	122.87	過去6ヵ月	4.27
2014年6月末	118.41	過去1年	8.35
2014年3月末	118.24	過去3年	32.42
2013年12月末	117.88	設定来	28.12

■特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	22,603
有価証券売却益	—
有価証券評価益	194,735
有価証券償還益	—
為替差益	—
その他収益	—
有価証券売却損	—
有価証券評価損	—
有価証券償還損	—
為替差損	—
その他費用及び損失	—
収支差計	217,339

- ※ 特別勘定のユニットプライスは、2006年8月30日のプライスを100.00として計算しています。
- ※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。
- ※ 特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認くださいことができます。

■特別勘定資産の内訳

項目	ライフプロデュース世界債券	
	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	124,361	4.6
その他有価証券	2,577,719	95.4
合計	2,702,081	100.0

- ※ 特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。
- ※ なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下《参考情報》に記載しております。
- ※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

《参考情報》 適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・グローバル・ボンド・ファンド-1 [2015年3月 末日現在]

■利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・グローバル・ボンド・ファンド-1
 【委託会社】 アライアンス・パースタイン株式会社
 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国の投資適格債(BBB格以上)を投資対象に分散投資と投資対象証券の相対的投資価値分析を基本として、信託財産の成長を図ることを目的に運用を行います。実質組入外資産資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

※ 当投資信託は、主としてアライアンス・パースタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券に投資します。

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	▲0.37%	▲2.61%	5.03%	9.92%	37.71%	48.33%
BM	▲0.50%	▲2.73%	5.31%	10.38%	39.25%	46.22%
差	0.13%	0.12%	▲0.28%	▲0.45%	▲1.54%	2.11%

- ※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2006年6月5日)を起点として計算しています。
- ※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
- ※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、シティ世界国債インデックス(円ベース)⁴⁾です。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○ 組入上位10銘柄

順位	銘柄	国名	クーポン	償還日	格付		マザーファンド
					ムーディーズ	S&P	
1	米国国債	アメリカ	1.500%	2016年6月30日	Aaa	AA+	4.48%
2	米国国債	アメリカ	0.125%	2019年4月15日	Aaa	AA+	3.06%
3	米国国債	アメリカ	1.125%	2019年12月31日	Aaa	AA+	3.03%
4	イギリス国債	イギリス	1.750%	2019年7月22日	Aa1	AAA	2.99%
5	日本国債	日本	1.500%	2019年3月20日	A1	AA-	2.36%
6	米国国債	アメリカ	0.375%	2016年1月15日	Aaa	AA+	2.33%
7	日本国債	日本	0.300%	2018年3月20日	A1	AA-	2.27%
8	日本国債	日本	1.400%	2034年9月20日	A1	AA-	2.18%
9	日本国債	日本	1.600%	2033年3月20日	A1	AA-	2.04%
10	イギリス国債	イギリス	2.250%	2023年9月7日	Aa1	AAA	1.86%
合計							26.62%
組入銘柄数							165銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。 ・3ページおよび5ページ～10ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、11ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

年金払定期付積立型変額保険

用語説明

- *1 「リバランス」とは、当初決定した資産配分比率に調整することをいいます。
- *2 「MSCIワールド・インデックス」とは、MSCI Inc.が世界の先進国株式市場のパフォーマンスを測るために開発した指数で、各国の株式時価総額等をベースに算出されたものです。MSCIワールド・インデックスに関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCIワールド・インデックス(税引後配当金込/円ベース)は、MSCIワールド・インデックス(米ドルベース)をもとに、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて委託会社が円ベースに換算したものです。
- *3 「シティ世界国債インデックス(円ベース)」とは、Citigroup Index LLCが算出・公表する指数で、1984年12月末日を100として世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額で加重平均し指数化したものです。シティ世界国債インデックス(円ベース)に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はCitigroup Index LLCに帰属します。
- *4 「TOPIX(東証株価指数 配当込)」とは、東京証券取引所第一部に上場されている普通株式全銘柄の浮動株調整後の時価総額を指数化し、配当収益を考慮したインデックスであり、市場全体の動向を反映するものです。TOPIX(東証株価指数)は、株式会社東京証券取引所(以下株東証取引所)の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は株東証取引所が有しています。株東証取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

年金払定期付積立型変額保険のリスク及び諸費用について ①

【投資リスクについて】

この保険は積立金額、払いもどし金額および満期保険金額などが特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額保険です。特別勘定資産の運用は、主として国内外の株式および公社債を主要投資対象とする投資信託を利用して運用され、株式および公社債の価格変動と為替変動などに伴う投資リスクがあります。特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、このリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。運用実績によっては、ご契約を解約した場合の払いもどし金額や満期保険金額などが払込保険料総額を下回る場合があります。特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待通りでなかった場合でも、当社または第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

【諸費用について】

お客様にご負担いただく費用は、危険保険料、各保険契約管理費、および運用関係費の合計額となります。

<第1回の年金の支払事由発生前にかかる費用>

項目	費用	備考
危険保険料	毎月の初日から末日までの日々の危険保険金額を平均した額に、危険保険料率を乗じた金額	月単位の契約応当日の前日末に積立金から控除します。
保険契約管理費(保険料比例部分) *契約日が2013年10月1日以前のご契約者様	保険料(任意一時払保険料を除く)に対し、 3.00%	各保険料を特別勘定に繰り入れる際、当該保険料から控除して積立金に充当します。
保険契約管理費(保険料比例部分) *契約日が2013年10月2日以降のご契約者様	保険料(任意一時払保険料を除く)に対し、 5.00%	各保険料を特別勘定に繰り入れる際、当該保険料から控除して積立金に充当します。
保険契約管理費(定額部分)	毎月250円(固定費)	月単位の契約応当日の前日末に積立金から控除します。
保険契約管理費(危険保険金額比例部分)	毎月の初日から末日までの日々の危険保険金額を平均した額に対し、 0.01%/月	月単位の契約応当日の前日末に積立金から控除します。
保険契約管理費(積立金額比例部分)	積立金額に対し、 年率1.00% (1.00%/365日を乗じた金額)	毎日、積立金から控除します。

- * 危険保険料は、危険保険金額が積立金額の変動によって変動すること、また、危険保険料率が被保険者の年齢や性別によって異なることから具体的な数値を記載することができません。危険保険料率について詳しくは、「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。
- ・ 毎月の初日から末日までの日々の危険保険金額を平均した額が1,000万円を超える場合、高額割引が適用され、その月の保険契約管理費(危険保険金額比例部分)がお安くなります。ただし、基本年金年額の減額や積立金額の増加などにより、危険保険金額が1,000万円以下となる場合には、高額割引は適用されなくなります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

年金払定期付積立型変額保険のリスク及び諸費用について ②

<積立金の移転や解約などにかかる費用>

項目	時期	費用	備考
積立金移転費用	積立金の移転時	【書面による移転申込みの場合】 月1回目1,500円、 2回目以降は1回につき2,300円 ^(*)	毎回の移転について積立金から控除します。
		【インターネットによる移転申込みの場合】 月1回の積立金の移転は無料、 2回目からは1回につき800円 ^(*)	1か月に2回以上積立金の移転を行なう場合、 2回目からの移転について積立金から控除します。
解約控除	解約時	積立金に対する解約控除額(積立金に解約控除率10%~1%を乗じた金額)と危険保険金に対する解約控除額(危険保険金に解約控除率0.50%~0.05%を乗じた金額)の合計額	解約日が契約日より起算して10年未満の場合には、 経過年数に応じて計算した金額を、 解約日の翌営業日の積立金額から控除します。
解約控除	積立金の一部引出時	積立金に対する解約控除額(積立金に解約控除率10%~1%を乗じた金額)	一部引出日が契約日より起算して10年未満の場合には、 経過年数に応じて計算した金額を、 一部引出請求金額から控除します。

(*)1) 月単位の契約応当日から翌月の契約応当日の前日までに積立金移転を行った回数

※ 経過年数については1年未満は切り上げとなります。

※ 無償引出限度額(解約日または一部引出日の前日の積立金額の10%相当額)と同額の積立金額までは上記の積立金に対する解約控除額の計算対象となりません。ただし、すでに積立金の一部引出が行なわれている場合はその合計額を無償引出限度額から差し引きます。

※ 解約時の払戻し金の支払いに際しては、解約日の属する月に控除すべき危険保険料および保険契約関係費を払いもどし金額から差し引いてお支払いします。

※ 基本年金年額の減額、契約の型の変更、保険期間の短縮の際にも、危険保険金額の減額により、危険保険金額に対する解約控除が適用される場合があります。

※ 将来、上記の内容が変更になることがあります。

●運用関係の費用

項目	時期	費用	備考
運用関係費	毎日	ライフプロデュース30 年率0.7992%程度 (税抜年率0.74%程度)	投資信託の純資産額に対して、 毎日積立金から控除します。
		ライフプロデュース50 年率0.8532%程度 (税抜年率0.79%程度)	
		ライフプロデュース70 年率0.9072%程度 (税抜年率0.84%程度)	
		ライフプロデュース日本株式 年率0.8856%程度 (税抜年率0.82%程度)	
		ライフプロデュース世界株式 年率0.9180%程度 (税抜年率0.85%程度)	
		ライフプロデュース世界債券 年率0.5616%程度 (税抜年率0.52%程度)	

※ 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。

信託報酬の他、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料及び消費税等の税金等の諸費用がかかりますが、

これらの諸費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。

また、各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの諸費用を間接的に負担することとなります。

これらの運用関係費は、運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

<第1回の年金の支払事由発生以後にかかる費用>

項目	時期	費用	備考
年金管理費	年単位の契約応当日	支払年金額の1%	年金支払開始日以後、 年単位の契約応当日に責任準備金から控除されます。

※ 年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>